

平成16年(2004年)毎月勤労統計調査の結果

1 概 況

(1) 平成16年の特徴

前年ゆるやかに回復した県内経済は、平成16年に入り、横ばい傾向となった。

本県の平成16年『賃金、労働時間及び雇用の動き』の特徴は以下のとおりである。

事業所規模30人以上の事業所(以後、特に断りのない限り、事業所規模30人以上の数字。)の調査産業全体の常用労働者数は、前年比0.2%増となり、2年連続で増加したものの、前年と比較するとその伸びは鈍化した。雇用のけん引役であった製造業が7月以降、減少に転じたことがその主な要因である。

また、調査産業全体の現金給与総額は、前年比0.7%減となり、6年連続で前年を下回った。常用労働者数の多いサービス業の現金給与総額が、前年比3.2%減と減少したことが影響した。一方、製造業は、前年比3.0%増となり、2年連続で増加した。

(2) 賃 金 (常用労働者, 調査産業計)

- ・ 現金給与総額(注1)は369,635円, 前年比0.7%減(6年連続)(注2)
- ・ きまって支給する給与(定期給与)は294,496円, 前年比0.6%減(2年ぶり)
- ・ 特別に支払われた給与(特別給与)は75,139円, 前年比1.2%減(6年連続)

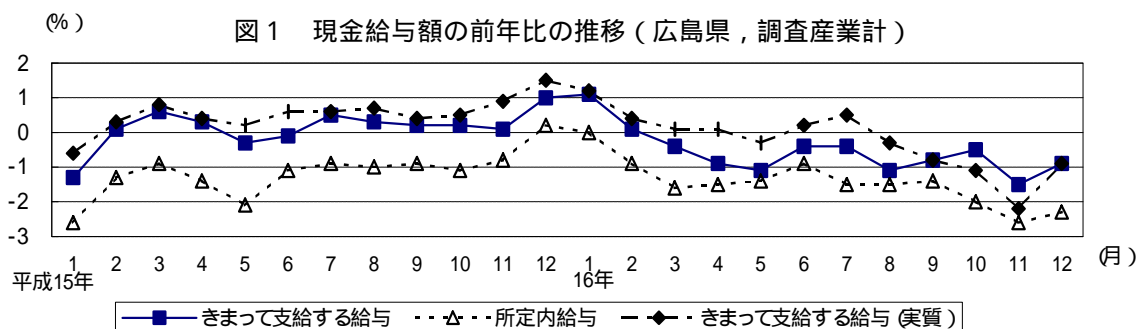
表1 1人平均月間現金給与額(広島県及び全国, 常用労働者, 調査産業計)

| 項 目 | 30人以上 | | | | 5人以上 | | | |
|---------------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|
| | 広 島 県 | | 全 国 | | 広 島 県 | | 全 国 | |
| | 実 数 | 前年比 | 実 数 | 前年比 | 実 数 | 前年比 | 実 数 | 前年比 |
| 現金給与総額(円) | 369,635 | 0.7 | 376,964 | 0.8 | 324,826 | 3.2 | 332,784 | 0.7 |
| きまって支給する給与(円) | 294,496 | 0.6 | 299,380 | 0.1 | 266,651 | 2.9 | 272,047 | 0.4 |
| 所 定 内 給 与 (円) | 265,231 | 1.5 | 273,978 | 0.4 | 245,618 | 3.7 | 253,105 | 0.6 |
| 所 定 外 給 与 (円) | 29,265 | 7.9 | 25,402 | 3.0 | 21,033 | 5.9 | 18,942 | 3.9 |
| 特別に支払われた給与(円) | 75,139 | 1.2 | 77,584 | 3.3 | 58,175 | 4.4 | 60,737 | 1.9 |

注1 現金給与総額 = きまって支給する給与 + 特別に支払われた給与(賞与など)

きまって支給する給与 = 所定内給与(基本給など) + 所定外給与(残業手当・休日出勤手当など)

2 抽出替え(事業所の入れ替え)に伴うギャップ修正は、指数についてのみ行い、実数については行っていない。前年比は指数により算出している。以下同じ。

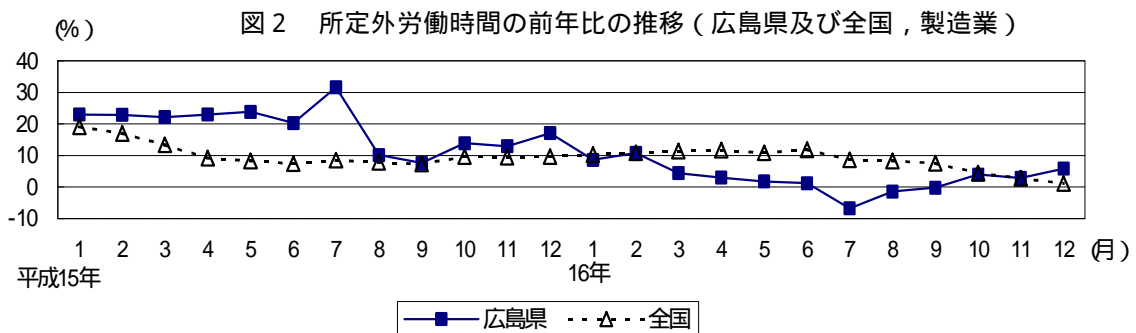


(3) 労働時間

- ・ 調査産業全体の総労働時間は 156.7 時間，前年比 0.3% 増（3 年ぶり）
- ・ 調査産業全体の所定外労働時間は 14.2 時間，前年比 3.3% 増（5 年連続）
- ・ 製造業の所定外労働時間は 21.2 時間，前年比 2.7% 増（6 年連続）

表2 1人平均月間労働時間（広島県及び全国，常用労働者）

| 項目 | 30人以上 | | | | 5人以上 | | | |
|------------------|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| | 広島県 | | 全国 | | 広島県 | | 全国 | |
| | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 |
| 総実労働時間(時間) | 156.7 | 0.3 | 153.3 | 0.6 | 155.3 | 0.9 | 151.3 | 0.1 |
| 所定内労働時間(時間) | 142.5 | 0.0 | 140.9 | 0.4 | 143.5 | 0.3 | 141.0 | 0.1 |
| 所定外労働時間(時間) | 14.2 | 3.3 | 12.4 | 4.1 | 11.8 | 9.4 | 10.3 | 2.7 |
| 所定外労働時間(製造業)(時間) | 21.2 | 2.7 | 17.8 | 8.2 | 19.1 | 2.7 | 15.8 | 7.1 |

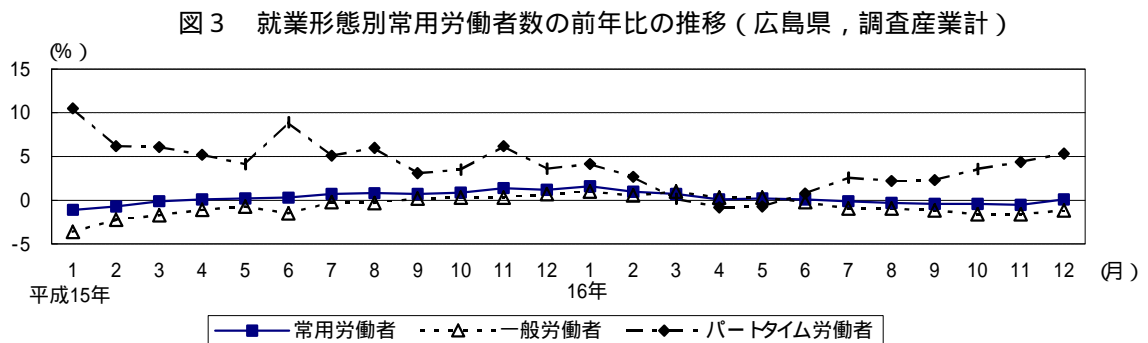


(4) 雇用（調査産業計）

- ・ 常用労働者数は 541,456 人，前年比 0.2% 増（2 年連続）
- ・ 一般労働者数は 432,853 人，前年比 0.4% 減（8 年連続）
- ・ パートタイム労働者数は 108,603 人，前年比 2.2% 増（9 年連続）

表3 就業形態別常用労働者数（広島県及び全国，調査産業計）

| 項目 | 30人以上 | | | | 5人以上 | | | |
|--------------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|---------|-----|
| | 広島県 | | 全国 | | 広島県 | | 全国 | |
| | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 | 実数 | 前年比 |
| 常用労働者数(人) | 541,456 | 0.2 | 24,944千 | 0.1 | 960,260 | 0.4 | 42,831千 | 0.4 |
| 一般労働者(人) | 432,853 | 0.4 | 19,610千 | 0.9 | 738,278 | 2.0 | 32,008千 | 1.1 |
| パートタイム労働者(人) | 108,603 | 2.2 | 5,334千 | 4.8 | 221,982 | 9.2 | 10,823千 | 5.5 |



2 賃金の動き（事業所規模 30 人以上）

（1）産業別現金給与額（常用労働者）

調査産業全体の現金給与総額は、前年比 0.7% 減となり、6 年連続で減少した。内訳をみると、所定外給与は前年比 7.9% 増と増加したが、所定内給与は前年比 1.5% 減、特別に支払われた給与（以下「特別給与」という。）は前年比 1.2% 減となった。

産業別の現金給与総額は、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、卸売・小売業、飲食店及び金融・保険業が、前年を上回った。「産業別現金給与総額の動向」（図 4）をみると、平成 15 年と比べ、建設業及び運輸・通信業が減少している。平成 15・16 年と連続して現金給与総額が増加した産業は製造業のみである。

平成 15 年に比べ、平成 16 年は増加した産業と減少した産業に多少分かれた。

図 4 産業別現金給与総額の動向

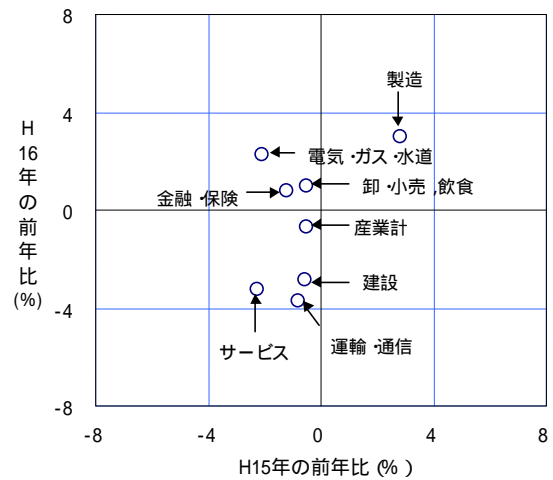


表 4 産業別現金給与額（常用労働者）

| 産 業 | 現金給与総額 | | きまって支給する給与 | | 所定内給与 | | 所定外給与 | | 特別に支払われた給与 |
|-------------|---------|-----|------------|-----|---------|-----|--------|------|------------|
| | 総額 | 前年比 | する給与 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | |
| 調 査 産 業 計 | 369,635 | 0.7 | 294,496 | 0.6 | 265,231 | 1.5 | 29,265 | 7.9 | 75,139 |
| 建 設 業 | 387,114 | 2.8 | 340,552 | 3.4 | 313,794 | 1.1 | 26,758 | 42.0 | 46,562 |
| 製 造 業 | 410,053 | 3.0 | 324,349 | 1.9 | 277,531 | 1.2 | 46,818 | 6.0 | 85,704 |
| 電気・ガス熱供給水道業 | 588,949 | 2.3 | 444,403 | 3.2 | 388,647 | 0.9 | 55,756 | 47.1 | 144,546 |
| 運 輸 ・ 通 信 業 | 381,449 | 3.7 | 306,195 | 1.8 | 265,356 | 1.6 | 40,839 | 3.8 | 75,254 |
| 卸売・小売業、飲食店 | 253,305 | 1.0 | 207,753 | 1.0 | 196,281 | 0.7 | 11,472 | 6.2 | 45,552 |
| 金 融 ・ 保 険 業 | 516,654 | 0.8 | 389,301 | 1.9 | 366,226 | 3.3 | 23,075 | 25.9 | 127,353 |
| サ ー ビ ス 業 | 372,841 | 3.2 | 293,311 | 2.5 | 273,878 | 3.8 | 19,433 | 19.3 | 79,530 |

（2）就業形態別現金給与額（調査産業計）

就業形態別の現金給与総額は、一般労働者が調査産業計で前年比 0.5% 減、パートタイム労働者が前年比 2.1% 増となった。

表 5 就業形態別現金給与額（調査産業計）

| 就 業 形 態 | 現金給与総額 | | きまって支給する給与 | | 所定内給与 | | 特別に支払われた給与 | |
|-------------------|---------|-----|------------|-----|---------|-----|------------|-----|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | |
| 一 般 労 働 者 | 436,897 | 0.5 | 343,559 | 0.5 | 308,420 | 1.4 | 93,338 | 0.4 |
| パ ー ト タ イ ム 労 働 者 | 101,311 | 2.1 | 98,774 | 2.3 | 92,938 | 1.9 | 2,537 | 4.4 |

(3) 賞与(常用労働者)

大部分が賞与で占められる特別給与は、前年比1.2%減となった。夏季賞与及び冬季賞与は、次のとおりである。

夏季賞与(6月～8月)

平成16年6月から8月に支払われた支給事業所1人平均賞与額(注1)は、調査産業計で前年比1.5%増となり、6年ぶりに増加した。(注2)

表6 夏季賞与(6～8月)

| 産 業 | 平成16年夏季賞与 | | 平成15年夏季賞与 | |
|-------------------|------------------|-------|------------------|-------|
| | 支給事業所 1人平均賞与額 | 前年同期比 | 支給事業所 1人平均賞与額 | 前年同期比 |
| | 円 | % | 円 | % |
| 調査産業計 | 464,665 | 1.5 | 458,029 | 0.3 |
| 建設業 | 396,378 | 5.7 | 417,880 | 0.9 |
| 製造業 | 520,080 | 4.8 | 485,314 | 2.7 |
| 電気・ガス・熱供給 ・水道業 | 843,080 | 1.4 | 844,835 | 2.7 |
| 運輸・通信業 | 510,350 | 5.0 | 468,857 | 5.6 |
| 卸売・小売業, 飲食店 | 281,438 | 15.7 | 236,177 | 4.8 |
| 金融・保険業 | 678,693 | 1.2 | 687,042 | 5.4 |
| サービス業 | 473,455 | 3.0 | 500,426 | 0.1 |

注1 支給事業所1人平均賞与額とは、賞与を支給した事業所における常用労働者1人あたりの平均賞与支給額である。

2 前年同期比は、抽出替え(事業所の入れ替え)によって生じるギャップを修正した指数をもとに算定してある。したがって、実数をもとにして計算した値とは一致しない。以下同じ。

冬季賞与(11月～1月)

平成16年11月から平成17年1月に支払われた支給事業所1人平均賞与額は、調査産業計で前年比0.5%減となり、7年連続で減少した。

表7 冬季賞与(11～1月)

| 産 業 | 平成16年冬季賞与 | | 平成15年冬季賞与 | |
|-------------------|------------------|-------|------------------|-------|
| | 支給事業所 1人平均賞与額 | 前年同期比 | 支給事業所 1人平均賞与額 | 前年同期比 |
| | 円 | % | 円 | % |
| 調査産業計 | 471,501 | 0.5 | 474,168 | 0.2 |
| 建設業 | 317,420 | 17.5 | 381,610 | 3.1 |
| 製造業 | 523,005 | 3.9 | 489,579 | 1.8 |
| 電気・ガス・熱供給 ・水道業 | 873,467 | 0.7 | 884,715 | 3.2 |
| 運輸・通信業 | 497,879 | 2.4 | 487,574 | 3.7 |
| 卸売・小売業, 飲食店 | 269,968 | 5.4 | 274,227 | 0.8 |
| 金融・保険業 | 689,914 | 9.0 | 783,160 | 0.2 |
| サービス業 | 519,389 | 4.4 | 513,526 | 4.8 |

3 労働時間の動き（事業所規模 30 人以上）

（1）産業別労働時間（常用労働者）

調査産業全体の総実労働時間は、調査産業計で前年比 0.3% 増となった。内訳をみると、所定内労働時間は前年同水準となったが、所定外労働時間が前年比 3.3% 増となった。

表 8 産業別労働時間（常用労働者）

| 産 業 | 総 実 労働時間 | | 所 定 内 労働時間 | | 所 定 外 労働時間 | | 出 勤 日 数 | |
|-----------------------|-------------|-----|---------------|-----|---------------|------|---------|-----|
| | 時間 | 前年比 | 時間 | 前年比 | 時間 | 前年比 | 日 | 前年差 |
| 調 査 産 業 計 | 156.7 | 0.3 | 142.5 | 0.0 | 14.2 | 3.3 | 19.7 | 0.2 |
| 建 設 業 | 173.5 | 1.1 | 157.8 | 1.4 | 15.7 | 34.1 | 21.4 | 0.7 |
| 製 造 業 | 171.4 | 0.2 | 150.2 | 0.6 | 21.2 | 2.7 | 20.0 | 0.0 |
| 電 気 ・ ガ ス 熱 供 給 水 道 業 | 155.2 | 3.4 | 138.7 | 0.3 | 16.5 | 40.3 | 18.6 | 0.1 |
| 運 輸 ・ 通 信 業 | 161.7 | 3.0 | 139.8 | 2.5 | 21.9 | 5.9 | 19.7 | 0.3 |
| 卸 売 ・ 小 売 業 , 飲 食 店 | 138.1 | 3.3 | 132.0 | 3.2 | 6.1 | 3.4 | 19.6 | 0.8 |
| 金 融 ・ 保 険 業 | 145.4 | 2.2 | 136.2 | 3.5 | 9.2 | 20.1 | 19.2 | 0.4 |
| サ ー ビ ス 業 | 150.7 | 0.4 | 140.6 | 0.4 | 10.1 | 0.0 | 19.2 | 0.1 |

（2）就業形態別労働時間（調査産業計）

就業形態別の総実労働時間をみると、一般労働者は前年比 0.9% 減となり、パートタイム労働者は前年比 0.8% 増となった。

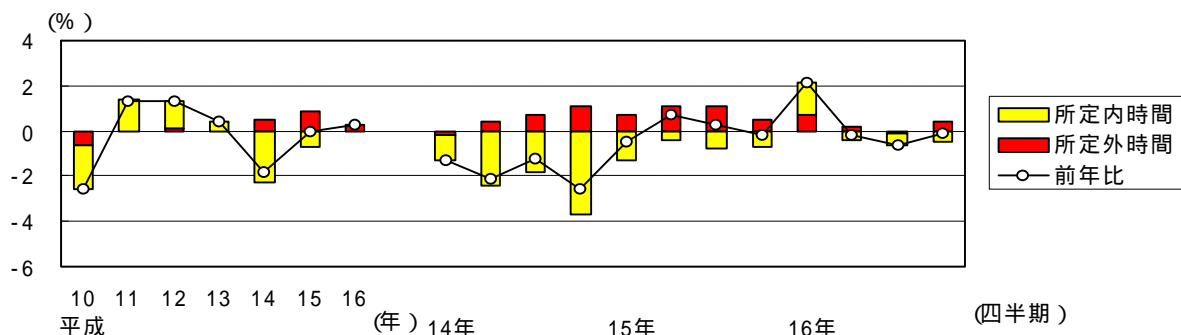
表 9 就業形態別労働時間（調査産業計）

| 就 業 形 態 | 総 実 労 働 時 間 | | 所 定 内 時 間 | | 所 定 外 時 間 | | 出 勤 日 数 | |
|-----------------|-------------|-----|-----------|-----|-----------|------|---------|-----|
| | 時間 | 前年比 | 時間 | 前年比 | 時間 | 前年比 | 日 | 前年差 |
| 一 般 労 働 者 | 170.8 | 0.9 | 154.2 | 0.8 | 16.6 | 2.8 | 20.3 | 0.0 |
| パ ー ト 時 間 労 働 者 | 100.5 | 0.8 | 95.7 | 0.6 | 4.8 | 41.9 | 17.3 | 0.8 |

（3）総実労働時間の要因分解（常用労働者，調査産業計）

「総実労働時間の前年比に対する項目別寄与度」（図 5）をみると、平成 16 年 1～3 月期では、所定内労働時間及び所定外労働時間ともに総実労働時間の増加に寄与したものの、4～6 月期以後は所定内労働時間及び所定外労働時間ともに前年とほぼ変わらなかった。

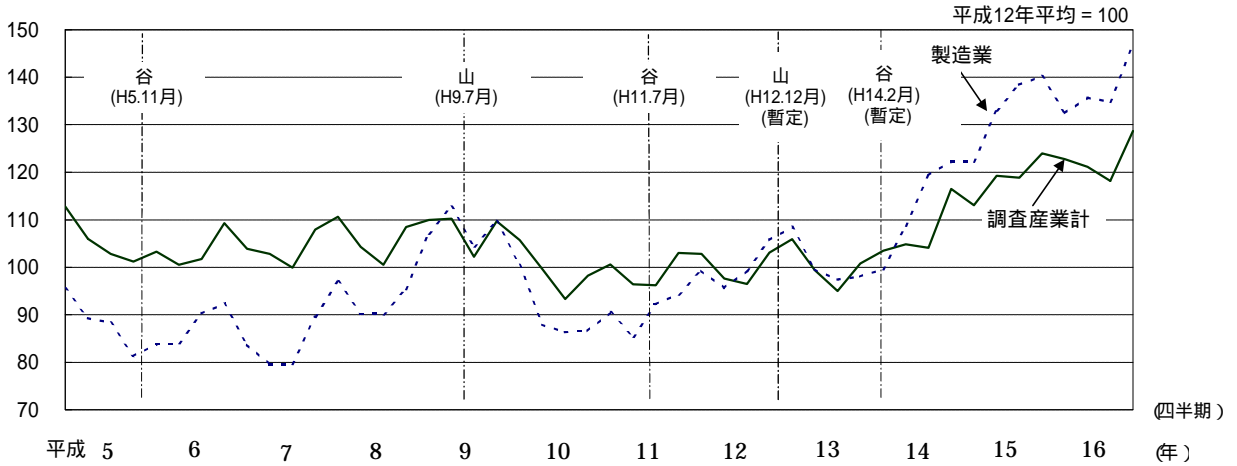
図 5 総実労働時間の前年比に対する項目別寄与度



(4) 所定外労働時間の推移 (常用労働者, 調査産業計及び製造業)

調査産業全体の所定外労働時間は前年比3.3%増となり, 製造業の所定外労働時間は前年比2.7%増となった。「所定外労働時間の推移」(図6)をみると, 製造業の所定外労働時間は, 平成14年1~3月期頃から, 平成16年1~3月期頃まで増加したが, その後は横ばい傾向にある。

図6 所定外労働時間の推移 (調査産業計及び製造業)



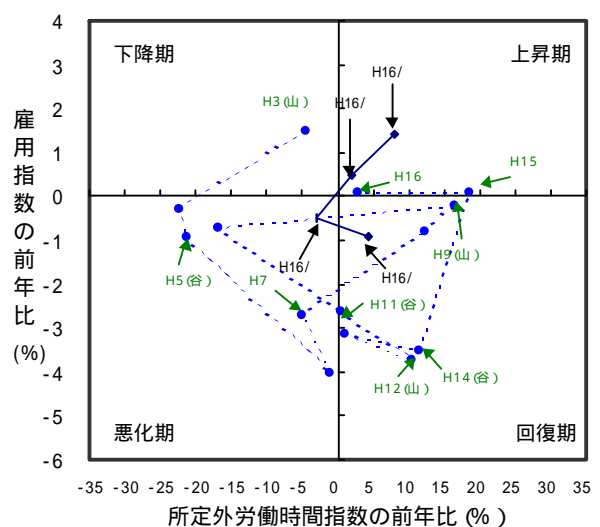
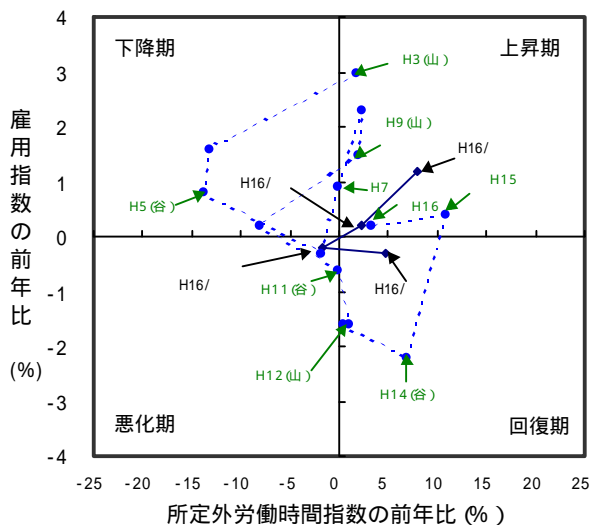
注 景気の山・谷の基準日付は, (財)ひろぎん経済研究所の設定による。(図7・8も同様である。)

(5) 所定外労働時間と常用労働者数との関係 (常用労働者, 調査産業計及び製造業)

「所定外労働時間と常用労働者数との関係 (調査産業計)」(図7)及び「所定外労働時間と常用労働者数との関係 (製造業)」(図8)をみると, 調査産業計, 製造業ともに平成14年から15年にかけて回復期から上昇期へと移行したが, 16年1~3月期から10~12月期にかけて常用労働者は減少傾向となった。平成16年平均としては景気は横ばいになった。

図7 所定外労働時間と常用労働者数との関係 (調査産業計)

図8 所定外労働時間と常用労働者数との関係 (製造業)



4 雇用の動き（事業所規模 30 人以上）

（1）産業別常用労働者数

調査産業全体の常用労働者数は、前年比 0.2% 増となり、2 年連続増加した。産業別にみると主要 3 産業のうち、製造業及びサービス業は、それぞれ前年比 0.1% 増、前年比 1.1% 増となったが、卸売・小売業、飲食店は、前年比 0.8% 減となった。

また、「常用労働者の労働異動率」（図 9）をみると、入職率と離職率はどの産業を見てもほとんど乖離が見られなかった。

図 9 常用労働者の労働異動率

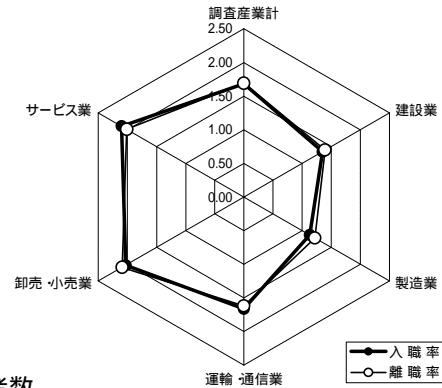
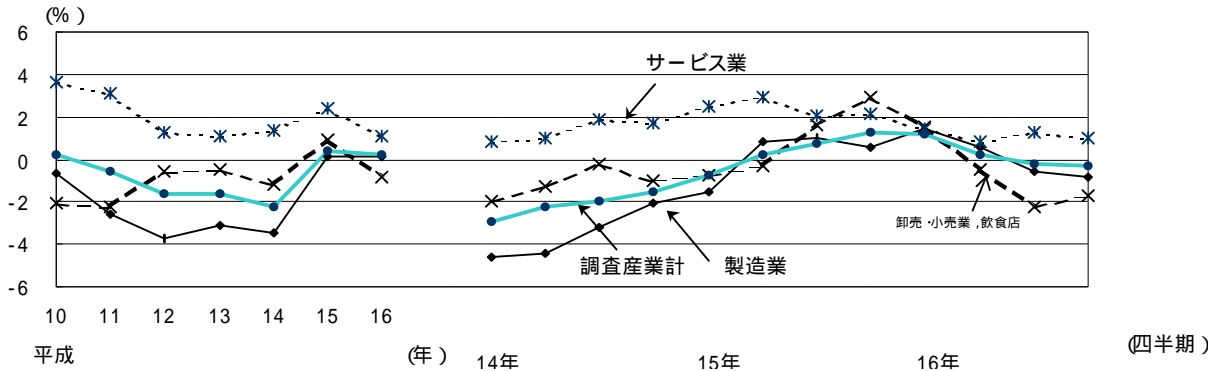


表 10 産業別常用労働者数

| 産 業 | 常用労働者数 | | | パートタイム | | 労働異動率 | | | | |
|--------------|---------|-------|-----|---------|-------|-------|------|------|------|-------|
| | 人 | % | 前年比 | 労働者数 | パート比率 | 入職率 | | 離職率 | | 入職超過率 |
| | | | | | | % | ポイント | % | ポイント | |
| 調査産業計 | 541,456 | 100.0 | 0.2 | 108,603 | 20.1 | 1.68 | 0.05 | 1.69 | 0.03 | 0.01 |
| 建設業 | 25,070 | 4.6 | 2.3 | 1,052 | 4.2 | 1.35 | 0.47 | 1.39 | 0.05 | 0.04 |
| 製造業 | 162,385 | 30.0 | 0.1 | 20,393 | 12.6 | 1.13 | 0.03 | 1.22 | 0.10 | 0.09 |
| 電気・ガス熱供給・水道業 | 6,577 | 1.2 | 1.1 | 39 | 0.6 | 0.63 | 0.11 | 0.63 | 0.17 | 0.00 |
| 運輸・通信業 | 56,480 | 10.4 | 0.3 | 9,660 | 17.1 | 1.66 | 0.65 | 1.62 | 0.31 | 0.04 |
| 卸売・小売業、飲食店 | 98,015 | 18.1 | 0.8 | 43,349 | 44.2 | 2.03 | 0.01 | 2.09 | 0.11 | 0.06 |
| 金融・保険業 | 12,678 | 2.3 | 3.5 | 876 | 6.9 | 1.64 | 0.61 | 1.60 | 0.37 | 0.04 |
| サービス業 | 177,880 | 32.9 | 1.1 | 32,475 | 18.3 | 2.10 | 0.07 | 2.01 | 0.02 | 0.09 |

図 10 産業別常用労働者数の推移



（2）就業形態別常用労働者数（調査産業計）

就業形態別の常用労働者数をみると、一般労働者は前年比 1.0% 増となり、パートタイム労働者数は前年比 3.6% 増となった。

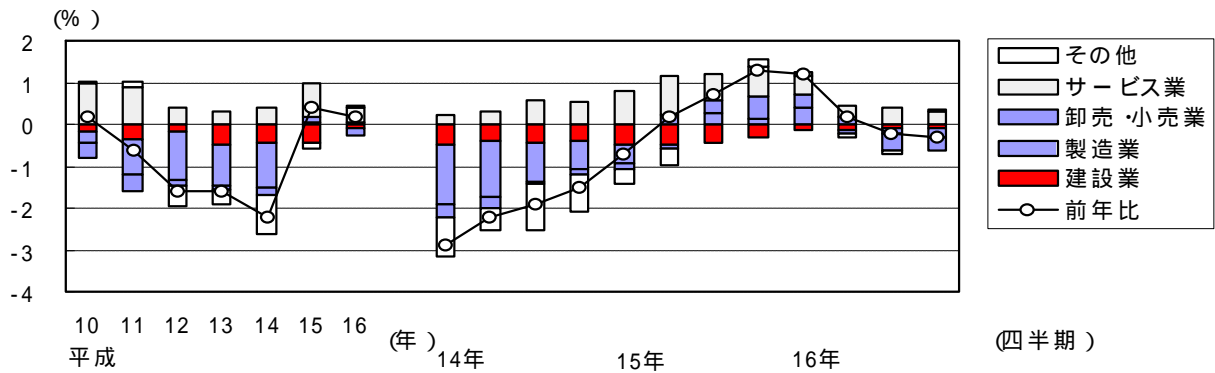
表 11 就業形態別常用労働者数（調査産業計）

| 就業形態 | 労働者数 | | 前年比 | 入職率 | | 離職率 | | 入職超過率 |
|-----------|---------|---|-----|------|------|------|------|-------|
| | 人 | % | | % | ポイント | % | ポイント | |
| 一般労働者 | 432,853 | | 1.0 | 1.21 | 0.05 | 1.26 | 0.02 | 0.05 |
| パートタイム労働者 | 108,603 | | 3.6 | 3.75 | 0.07 | 3.56 | 0.20 | 0.19 |

(3) 産業別雇用の状況(常用労働者, 調査産業計)

「常用労働者数の前年比に対する産業別寄与度」(図11)をみると、製造業の常用労働者数は、平成16年7～9月期以降減少に転じ、卸売・小売業、飲食店も、平成16年4～6月期以降減少に転じた。しかしサービス業は、継続して増加している。

図11 常用労働者数の前年比に対する産業別寄与度

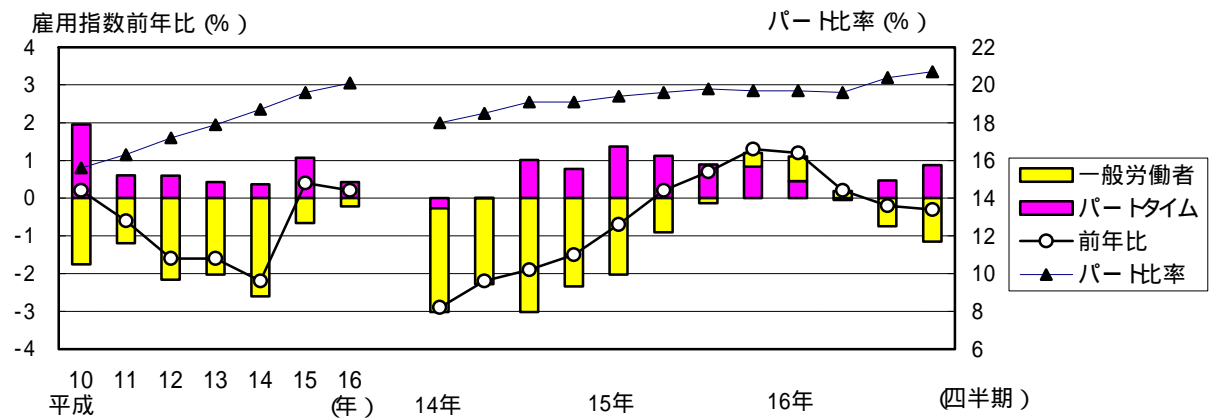


(4) 就業形態別雇用の状況(調査産業計)

次に、「常用労働者数の前年比に対する就業形態別寄与度及びパート比率」(図12)をみると、一般労働者数は、平成15年10～12月期から16年の4～6月期にかけて前年同期比が増加したものの、平成15・16年平均ではマイナスに寄与している。

また、パートタイム労働者比率(以下「パート比率」という。)は依然として上昇傾向にあり、一般労働者からパートタイム労働者への代替の動きは止まっていない。

図12 常用労働者数の前年比に対する就業形態別寄与度及びパート比率



5 賃金，労働時間及び雇用の動き（事業所規模5人以上）

(1) 賃金

- ・ 調査産業全体の現金給与総額は324,826円，前年比3.2%減
- ・ 調査産業全体のきまって支給する給与（定期給与）は266,651円，前年比2.9%減
- ・ 調査産業全体の特別に支払われた給与（特別給与）は58,175円，前年比4.4%減

表12 産業別現金給与額

| 産 業 | 現金給与 | | きまって支給 | | 所定内給与 | | 所定外給与 | | 特別に支払 われた給与 |
|--------------|---------|-----|---------|-----|---------|-----|--------|------|----------------|
| | 総 額 | 前年比 | する給与 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 | % | 円 |
| 調 査 産 業 計 | 324,826 | 3.2 | 266,651 | 2.9 | 245,618 | 3.7 | 21,033 | 5.9 | 58,175 |
| 建 設 業 | 335,103 | 3.7 | 300,906 | 0.6 | 281,967 | 2.6 | 18,939 | 42.4 | 34,197 |
| 製 造 業 | 370,896 | 1.8 | 299,545 | 0.6 | 259,712 | 0.5 | 39,833 | 7.7 | 71,351 |
| 電気・ガス熱供給・水道業 | 567,547 | 2.2 | 436,854 | 1.1 | 389,357 | 2.1 | 47,497 | 38.7 | 130,693 |
| 運 輸 ・ 通 信 業 | 338,850 | 9.1 | 280,393 | 6.0 | 245,252 | 6.2 | 35,141 | 5.0 | 58,457 |
| 卸売・小売業，飲食店 | 242,995 | 5.0 | 208,005 | 6.1 | 200,417 | 6.5 | 7,588 | 4.7 | 34,990 |
| 金 融 ・ 保 険 業 | 440,780 | 4.9 | 342,690 | 4.8 | 323,737 | 5.6 | 18,953 | 7.6 | 98,090 |
| サ ー ビ ス 業 | 338,240 | 3.1 | 270,076 | 2.3 | 255,045 | 2.7 | 15,031 | 8.0 | 68,164 |

表13 就業形態別現金給与総額

| 就 業 形 態 | 現金給与総額 | | きまって支給する給与 | | 特別に支払われた給与 | | | |
|-----------|---------|-----|------------|-----|------------|-----|--------|-----|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | | |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % | | |
| 一 般 労 働 者 | 394,971 | 1.4 | 320,094 | 1.3 | 293,897 | 2.0 | 74,877 | 2.1 |
| パートタイム労働者 | 91,282 | 1.2 | 88,715 | 1.2 | 84,873 | 1.8 | 2,567 | 1.0 |

(2) 労働時間

- ・ 調査産業全体の総労働時間は155.3時間，前年比0.9%増
- ・ 調査産業全体の所定内労働時間は143.5時間，前年比0.3%増
- ・ 調査産業全体の所定外労働時間は11.8時間，前年比9.4%増
- ・ 製造業の所定外労働時間は19.1時間，前年比2.7%増

表14 産業別労働時間（常用労働者）

| 産 業 | 総 実 | | 所 定 内 | | 所 定 外 | | 出 勤 日 数 | |
|--------------|-------|-----|-------|-----|-------|------|---------|-----|
| | 労働時間 | 前年比 | 労働時間 | 前年比 | 労働時間 | 前年比 | 前年差 | 前年差 |
| | 時間 | % | 時間 | % | 時間 | % | 日 | 日 |
| 調 査 産 業 計 | 155.3 | 0.9 | 143.5 | 0.3 | 11.8 | 9.4 | 19.9 | 0.0 |
| 建 設 業 | 174.2 | 5.2 | 162.0 | 3.0 | 12.2 | 48.6 | 21.7 | 0.7 |
| 製 造 業 | 170.1 | 0.0 | 151.0 | 0.2 | 19.1 | 2.7 | 20.2 | 0.0 |
| 電気・ガス熱供給・水道業 | 152.2 | 2.0 | 138.2 | 0.2 | 14.0 | 33.3 | 18.5 | 0.0 |
| 運 輸 ・ 通 信 業 | 167.8 | 1.2 | 144.9 | 3.3 | 22.9 | 12.5 | 20.1 | 0.3 |
| 卸売・小売業，飲食店 | 142.7 | 0.3 | 136.6 | 1.5 | 6.1 | 28.5 | 19.6 | 0.6 |
| 金 融 ・ 保 険 業 | 149.7 | 1.0 | 141.2 | 1.6 | 8.5 | 10.3 | 19.3 | 0.2 |
| サ ー ビ ス 業 | 148.1 | 2.7 | 139.6 | 3.0 | 8.5 | 0.5 | 19.4 | 0.2 |

表15 就業形態別労働時間（調査産業計）

| 就 業 形 態 | 総実労働時間 | | 所定内時間 | | 所定外時間 | | 出 勤 日 数 | |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|------|---------|-----|
| | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年差 | 前年差 | |
| | 時間 | % | 時間 | % | 時間 | % | 日 | 日 |
| 一 般 労 働 者 | 173.2 | 1.3 | 158.9 | 0.7 | 14.3 | 7.5 | 20.7 | 0.1 |
| パートタイム労働者 | 96.0 | 0.0 | 92.5 | 0.7 | 3.5 | 27.5 | 16.9 | 0.4 |

(3) 雇 用

- ・ 調査産業全体の常用労働者数は 960,260 人，前年比 0.4% 増
- ・ 調査産業全体の一般労働者数は 738,278 人，前年比 0.6% 減
- ・ 調査産業全体のパートタイム労働者数は 221,982 人，前年比 10.7% 増

表 16 産業別常用労働者数（常用労働者）

| 産 業 | 常用労働者数 | | | パートタイム | | 労働異動率 | | | | |
|---------------------|---------|-------|-----|---------|------------|-------|------|------|------|-----------|
| | 人 | % | 前年比 | 労働者数 | パート 比 率 | 入職率 | | 離職率 | | 入職 超過率 |
| | | | | | | % | ポイント | % | ポイント | |
| 調 査 産 業 計 | 960,260 | 100.0 | 0.4 | 221,982 | 23.1 | 1.95 | 0.08 | 1.94 | 0.14 | 0.01 |
| 建 設 業 | 69,055 | 7.2 | 3.3 | 3,115 | 4.5 | 1.68 | 0.62 | 1.60 | 0.05 | 0.08 |
| 製 造 業 | 219,131 | 22.8 | 0.4 | 32,837 | 15.0 | 1.27 | 0.05 | 1.36 | 0.16 | 0.09 |
| 電 気・ガ ス 熱 供 給・水 道 業 | 8,173 | 0.9 | 0.6 | 56 | 0.7 | 1.20 | 0.33 | 1.22 | 0.42 | 0.02 |
| 運 輸・通 信 業 | 80,953 | 8.4 | 1.2 | 13,596 | 16.8 | 1.82 | 0.59 | 1.88 | 0.22 | 0.06 |
| 卸 売・小 売 業，飲 食 店 | 258,661 | 26.9 | 1.8 | 105,718 | 40.9 | 2.36 | 0.25 | 2.40 | 0.44 | 0.04 |
| 金 融・保 険 業 | 26,807 | 2.8 | 2.2 | 2,485 | 9.3 | 1.49 | 0.41 | 1.56 | 0.29 | 0.07 |
| サ ー ビ ス 業 | 293,129 | 30.5 | 1.8 | 63,256 | 21.6 | 2.25 | 0.01 | 2.11 | 0.01 | 0.14 |

図 13 産業別の常用労働者数の推移

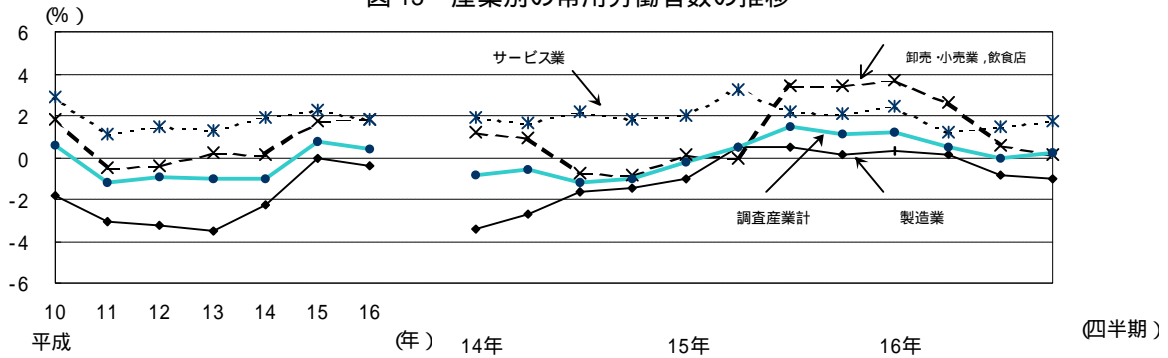


表 17 就業形態別労働者数（調査産業計）

| 就 業 形 態 | 労働者数 | | 入 職 率 | 前年差 | 離 職 率 | 前年差 | 入職超過率 |
|-------------------|---------|------|-------|------|-------|------|-------|
| | 人 | 前年比 | | | | | |
| 一 般 労 働 者 | 738,278 | 0.6 | 1.37 | 0.08 | 1.43 | 0.06 | 0.06 |
| パ ー ト タ イ ム 労 働 者 | 221,982 | 10.7 | 3.87 | 0.13 | 3.63 | 0.24 | 0.24 |